

広報「みなみふらの」

歩み続けて600号

広報「みなみふらの」は、昭和30年12月に第1号が発行されてから、今月で600号を迎えました。本号では、その節目を迎えるにあたり、これまでの歴史を振り返ってみたいと思います。



第100号(昭和38年9月発行)
当時の人口：9,859人
世帯数：2,171世帯

第200号(昭和48年9月発行)
当時の人口：5,819人
世帯数：1,702世帯



第300号(昭和57年4月発行)
当時の人口：4,314人
世帯数：1,468世帯



第400号(平成2年1月発行)
当時の人口：3,700人
世帯数：1,355世帯



第500号(平成9年11月発行)
当時の人口：3,296人
世帯数：1,314世帯

みなみふらの

表紙の題字「みなみふらの」は、昭和50年4月に発行された第218号から使用されており、当時の広報担当であった大宮助役が作成したもので、現在も使用しています。

第1号は、「村報南富良野」として昭和30年12月に発行され、B5サイズで新聞形式の全4ページ。当時の村上壽造村長の発刊のことはのほか、金山ダム建設計画に対して、村の存立が不可能としてダム建設の反対を公式に表明した記事が掲載されています。また、本町に初めて公営住宅が幾寅と東鹿越に完成し、住宅の構造や概要が紹介され、「近代的な明るい住宅として住む人に充分するおいを与えてくれることでしょう。」と記されています。第100号は昭和38年9月に第99号との合併号として発行され、村議会の審議内容や、幾寅市街地の舗装工事の様子が掲載されています。この当時の予算総額は、2億638万9千円でありました。

また、昭和36年と37年に大規模な水害に見舞われ、大きな被害を受けたことから「南富良野防災計画」が策定され、その内容について5ページに渡り掲載されています。

昭和40年1月発行の第115号からは、名称が「広報南富良野」に改められました。



△第142号

昭和42年11月に発行された第142号では、開町60周年と町制施行記念式典の記事が掲載され、全町民で盛大にお祝いをした様子が紹介されています。

さらに、町民の念願であったテレビ中継局（NHK）が金山と幾寅に建設され、12月から放送が開始されるとの記事が掲載されました。

第200号は、昭和48年9月に発行され、道民ス



昭和34年11月に発行された第50号。金山ダム建設計画に対する特集号として発行されました。当時の人口：12,305人
世帯数：2,069世帯

南富良野初の広報紙「村報南富良野」は昭和30年12月に発行されました。当時の人口：9,615人
世帯数：1,858世帯

ポーツ大会での選手の活躍した様子や町内児童生徒水泳大会の内容などが掲載されていました。

昭和55年から広報紙は、毎年1月に発行される新年号の表紙が、カラー印刷されるようになりました。

第300号は、昭和57年4月に発行され、昭和57年度の一般会計予算などを審議する町議会の様子が掲載され、当時の楯大亮町長の予算編成方針内容が掲載されており、当時の町の予算は総額28億7,925万7千円でありました。

また、300号を記念した特集記事が掲載され、町民150名を対象に行ったアンケート調査の結果について紹介されていました。第400号は平成2年1月に発行。新年にちなんで出初式や成人式、子ども会カルタ大会などの様子が掲載されています。また、落合地区に建設が進められていた多目的センターが完成し、その概要と落成式の様子が紹介されていました。



▽第430号

平成4年4月に発行された第429号からは、広報紙に2色刷りが導入され、「太陽と森と湖のまち」にちなんで、各年ごとに、橙色、緑色、青色の順番で印刷されるようになったほか、平成2年に制定された「町民憲章」が表紙に掲載されるようになりました。

これまでの間広報紙は、B5判で発行されてきましたが、平成6年4月発行の第455号より現在のA4判となりました。



△第455号

第500号は、平成9年11月に発行。この号では、平成9年度の上半期の財政



△「お知らせ」第1号

状況が掲載されており、当時の予算総額は71億8,47万6千円でありました。平成13年8月からは、それまでの月1回の定期発行のほかに、町の行事や役場からのお知らせなどを集約した広報みなみふらの「お知らせ」を毎月1日号と15日号として月2回発行しています。

以上、広報紙の移り変わりとともに南富良野の様子を振り返ってみました。今まで取材などにご協力くださいました方々に心からお礼申し上げます。この600号を節目として、さらに町民の皆さんに親しまれる広報紙づくりを目指して、今後も歩み続けて行きたいと思っています。